

JF大分

水産おおいた

2026年
9月

193号

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



沖縄県で「九州地区 漁港漁場大会」が開催

令和8年度九州地区漁港漁場大会（主催：沖縄県漁協、共催：大分県漁協、佐賀県漁協、長門県漁協、山口県漁協、福岡県漁協、熊本県漁協、鹿児島県漁協、沖縄県漁協）が、2026年9月16日（土）に沖縄県で開かれた。大会は、沖縄県漁協の会館で開催され、約100名が参加した。大会では、九州地区の漁業の現状と課題について、関係者間で意見交換が行われた。また、大会では、九州地区の漁業の発展を促進するための取り組みについて、関係者間で意見交換が行われた。大会では、九州地区の漁業の発展を促進するための取り組みについて、関係者間で意見交換が行われた。大会では、九州地区の漁業の発展を促進するための取り組みについて、関係者間で意見交換が行われた。

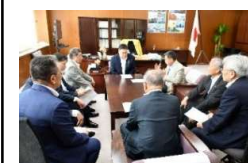
「海の日」海事関係功労者表彰 中根組合長が第七管区海上保安部長表彰を受賞

7月22日、北九州市において、九州運輸局、九州地方整備局、第七管区海上保安部など6団体による「海の日 海事関係者功労者表彰式」が開催された。これは6部門（優良船員、港湾建設の振興、海をきれいにするための協力他）で功績のあった方々を、海の日に併せて表彰するもの。国道交通大臣の式辞（代読）のあと、海上における人命財産の救護や海上保安思想の普及と海上保安業務の発展等に尽力したとして、中根組合長が「第七管区海上保安部長表彰」を受賞し、大達弘明本部長から感謝状が贈呈された。



国に魚類養殖経営安定対策を要望 全国漁連海面魚類養殖業対策協議会

8月18日、全国漁連海面魚類養殖業対策協議会（会長：坂本雅信全漁連会長）が農林水産省を訪問。山本啓介農林水産大臣政務官及び藤田仁司水産庁長官と面会し、①餌飼料対策の拡充・強化②人工種苗等新たな開発に対する支援③赤潮・魚病等に対する発生対策について要望した。養殖の主要な県の漁協の代表者や全海水等から10名が出席し、本県からは中根組合長が同席。組合長が「こういった厳しい時期を乗り越えるためセーフティーネット事業の拡充を」と訴えた。



山本政務官



藤田長官

第6回理事会を開催

8月31日の総会終了後、理事会が開催された。審議の結果等は以下のとおり。

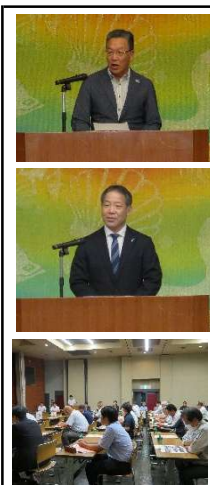
【議案】

- 第1号議案 組合員の異動について→計11名の組合員の異動（新規加入、資格変更）が承認された。
- 第2号議案 農林水産業燃油・物価高騰対策緊急支援事業の協同利用施設の整備について→計10箇所の船揚げ施設の改修が承認された。
- 第3号議案 令和8年度大分県沿岸漁業振興特別対策事業（追加）→ロインカット機購入が承認された。
- 第4号議案 業務規程（購買事業規程・購買未収金と信要領・購買事業員外取引細則）の一部改訂について→購買事業の与信限度額の増額等の規程案が承認された。
- 第5号議案 給与規程の一部変更について→初任給の引き上げる規程改定案が承認された。
- 第6号議案 マネロン対策にかかるリスク評価書およびリスク総括表の改正について→リスク評価書等の改正案について承認された。
- 第7号議案 理事との融資契約について→採決せず、臼杵支店の運営委員会と協議することになった。
- 第8号議案 令和9年度（改選期）地区漁業運営委員定数の見直し並びに地区漁業運営委員会の日当の統一に関する方針について→議論の結果、採決せず、再度検討することになった。
- 第9号議案 総会の部会の開催について（臼杵支店）→9/8に開催することが承認された。
- 第10号議案 遊休資産（土地）の売却について→一定の条件で、組合長専決で手続することを承認。

【協議・報告事項】

- ①米水津はまち養殖漁業生産組合の収支状況について
- ②余裕金の運用状況報告について
- ③その他 農林水産祭：10/17、10/18 別府市にて

海上保安協会大分支部 通常総会が開催



令和8年度海上保安協会大分支部通常総会が、8月27日（土）に、大分県漁協会館で開催された。当日は、支部長の中根組合長（兼、海上保安協会大分支部長）の挨拶で始まり、支部の活動報告、収支報告、役員報告が行われた。また、支部の活動報告、収支報告、役員報告が行われた。支部の活動報告、収支報告、役員報告が行われた。支部の活動報告、収支報告、役員報告が行われた。

編集後記

暑い夏が過ぎ、秋の気配が漂っています。今年も、多くの漁民が、豊作を収めました。しかし、台風の影響で、一部の漁民は、大きな被害を受けました。私たちは、漁民の安全と、豊作の確保のために、今後も、努力を続けていきます。また、漁民の生活の安定のために、今後も、努力を続けていきます。また、漁民の生活の安定のために、今後も、努力を続けていきます。また、漁民の生活の安定のために、今後も、努力を続けていきます。